

区民の暮らし支援の緊急要望

保育園、特養ホームの待機をなくせ

共産党区議団

日本共産党港区議団(6名)は6月17日、区長に区民の暮らしを支援する『緊急要望』書を提出し交渉しました。区長が病氣療養中のため、野村副区長が対応しました。

区民の暮らしと営業がますます深刻になり、党区議団に日々深刻な相談が寄せられています。とりわけ貧困と格差の拡大の結果による相談が増えていることなどを示し、緊急要望の実施を要請しました。

野村副区長は、要望の内容を良く検討することを約束しました。

(1) 国民健康保険について…

- ①資格証の発行は行わないこと。
- ②納付相談については、生活実態を良く聞き、実態に即した対応をすること。
- ③港区独自の減免制度を創設すること。

(2) 区発注の契約改善について…

下請け労働者の労働条件を確保するための監視システムをつくること。

(3) 特別養護老人ホームについて…

- ①早急に特別養護老人ホームの建設計画をつくること。
- ②医療対応が必要な入所希望者が排除されないことがないよう、港区として職員確保・体制への支援をすること。

(4) 保育園待機児童の解消のために…

- ①国公有地を活用し、認可保育園を建設すること。
- ②緊急暫定保育室を引き続き建設すること。
- ③東麻布保育室を継続すること。
- ④(仮設)高輪保育園を引き続き使用すること。
- ⑤志田町保育園移転後の用地活用は、保育施設を含む計画とすること。

(5) ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、子宮頸がんワクチン接種費用の助成を早急に行うこと。



野村副区長に「緊急要望」書を提出する議員団

障害者のグループホーム 早期実現についての請願採択

南青山二丁目計画されているグループホームの早期設置を求める請願が「港区手をつなぐ親の会」と「精神障がい者家族会」から提出され、二請願とも全会一致で採択されました。

計画では、社会福祉協議会との複合施設が計画されており、平成二四年二月が竣工予定です。グループホームは、障害者にとって、自律した生活を送るためには重要な施設です。

一般企業や作業所などで、昼間働きながら、生活指導員の援助で、共同生活を行います。港区内には、民間施設も含めず、五カ所のグループホームがありますが、まだまだ不足しており建設が急がれています。

すでにある施設では、休日には、清掃活動や防災訓練などの町会行事に参加し、町会の一員としての活動も広がっています。

子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌

ワクチンの助成を

ワクチンを接種する事により、予防する事ができるのが、子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌です。しかしその費用が高額なため経済的な事情で断念せざるを得ない方も出てきます。

二三区でも既に子宮頸がんは

杉並区、渋谷区、中央区、江戸川で実施、ヒブは十八区で実施しています。東京都は今年度から子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンの助成を行なっています。

党区議団は港区でも実施すべ

きと求めました。「国における検討結果を踏まえ、公費負担の必要性を検討」との答弁でした。議会に「子宮頸がんのワクチン助成を求める請願」が提出され、全会一致で採択されました。



国民健康保険料、5年間で最大の値上げ 賛成多数で可決

共産党は反対

保険料滞納は39%

二〇一〇年度の国民健康保険料が、大幅値上げされま
す。今回は、加入者全体の約
九二%が値上げになります。
この五年間では、最高の値上
げ幅です。

経済不況やリストラ、非正
規雇用などの増加で、区民の
暮らしは大変で、保険料を滞
納している世帯が、二〇〇九
年一二月末現在で加入世帯の
三九%にもなり、増え続けて
います。

**新宿区、足立区は
資格証ゼロ**

国保料の滞納で保険証がな
い、いわゆる「資格証」世帯
は、二〇〇九年度五八五世帯

に上っています。資格証の発
行は、新宿区や足立区ではゼ
ロ、渋谷区では七世帯、北区
は二八世帯と他区と比べて
も、非常に多くなっています。

資格証では、病院の窓口
で、全額支払わなければなら
ないため、受診が遅れ手遅れ
になるなど、社会問題になっ
ています。

私たちはこれまでも、経済
的理由で払えない方から、保
険証を取り上げるべきではな
いと再三質問で取り上げ、改
善を求めてきましたが、いつ
こうに改善されていません。

新たな値上げは、さらに払
えない方が増えることになる
との理由で、議案に反対。議
会終了後、資格証の発行をし
ないよう、野村副区長に対し
緊急要望を行いました（一面
参照）。

**普天間基地の無条件撤去
を求める意見書を提案**

**自民・民主・公明
などが拒否**

民主党政権の「国外移設、県外移設」
との公約が破られ、普天間基地撤去を
求める沖縄県民や国民の間に、新たな
怒りを巻き起こしています。

沖縄では、四月二十四日、「普天間基
地撤去」の大集会が開かれ九万人以上
の人が集まりました。県知事をはじめ

**区民はそっちのけで
自分たちの都合で新党派**

自民党区議団から二名が離党し「た
ちあがれ日本」に所属。フォーラム民
主から一名が「日本創新党」に入党。
その三名が「保守日本」という新党派
を結成しました。フォーラム民主（民
主党四名、社民党一名、無所属一名）、
みらい（無所属二名）がそれぞれ統一

すべての首長も参加（代理も含む）、政
党も参加しています。

二十三区唯一米軍基地を抱える港区
として、沖縄県民の願いを共に実現す
る立場から、「普
天間基地の無条
件撤去」を求める
意見書を提案し
ましたが、民主、
自民、公明などが
反対し、実現しま
せんでした。



4.25沖縄県民大集会

会派を組んできました。しかし、議案
への態度がバラバラになることが度々
ありました。共産党区議団は、統一会
派で議案に対する態度が違うのは「大
問題」、「ポストほしさの野合といわざ
るを得ない」と指摘してきました。
国政での党派離脱や新党結成に連動
するもので、「区民のこと
はそっちのけ」と批判が寄
せられています。



事項、調査内容についても、その中
で検討していく」と答えています。

再開発事業を検証せよ

四月一五日の区・都計審で、学識
経験者委員から、「この間区内で行
われてきた再開発について、どうい
う問題がおこっているか、検証委員
会をつくって検証するべきだ」とい
う提案がありました。街づくり支援
部長は、「何ができるか、検討させ
て頂きたい」と検討を約束しました。
党区議団は、この間、再開発事業

によって、多くの区民が転出したこ
とや、環境破壊、大規模地震時には
安全でないこと、地域コミュニティ
の破壊している実態を示して、区
の姿勢を改めよと要求してきました。
六月定例会では、「再開発事業を
検証すること」。検証にあたって、
「住民・地権者の動態や環境への影
響、災害時の安全、コミュニティ

等々」を正確に検証すること。また、
区民が再開発事業をどう考えている
かも調査すべきと、質問しまし
た。
副区長は、「区は、事業内容
などを適切に評価した上で、再
開発事業を支援している」など
と、再開発事業の有効性と今後
も推進する姿勢を示した上で、
「評価検証する仕組みについて
検討を深めていく。検証すべき



白金一丁目東地区再開発

区民要求実現のため、がんばります



いのくま正一
(3431) 3449



大滝 実
(3457) 1525



沖島えみ子
(3443) 4517



風見 利男
(3400) 5015



熊田ちづ子
(3583) 1402



星野たかし
(3449) 1202

困ったときはすぐ相談を 6名の区議が毎月相談会を開いています